

2.3. 公共交通の状況

(1) 鉄道の利用状況

平成 27 年度の駅別乗降客数をみると、近鉄蟹江駅の乗降客数が最も多く、次いで、JR 蟹江駅、近鉄富吉駅の順に多くなっている。乗降客数の推移をみると、富吉駅の乗降客数が減少傾向にある一方で、近鉄蟹江駅はほぼ横ばいになっている。また、各駅の運行本数をみると、近鉄蟹江駅の運行本数が最も多く、次いで近鉄富吉駅が多い。JR 蟹江駅は、3 駅

の中で最も運行本数が少ないが、近年乗降客数が増加傾向にある。

本町の各駅までの交通分担率は、徒歩、自転車での利用が多くなっているが、自動車の交通分担率が 20%程度ある。

表 町内の鉄道駅の運行本数

駅		方面	平日		土曜・休日		備考
			日平均 (本/時)	ピーク時 (本/時)	日平均 (本/時)	ピーク時 (本/時)	
近鉄	蟹江駅	近鉄名古屋方面	8.7	16.0	8.2	12.0	急行、準急、普通 が停車
		伊勢中川・五十鈴川方面	8.7	13.0	8.1	11.0	
	富吉駅	近鉄名古屋方面	5.7	10.0	5.5	7.0	準急、普通が停車
		伊勢中川方面	3.4	5.0	3.4	5.0	
JR	蟹江駅	名古屋方面	3.0	6.0	2.9	5.0	普通、区間快速が 停車
		四日市・松阪方面	3.1	4.0	3.0	4.0	

資料：各鉄道会社 HP

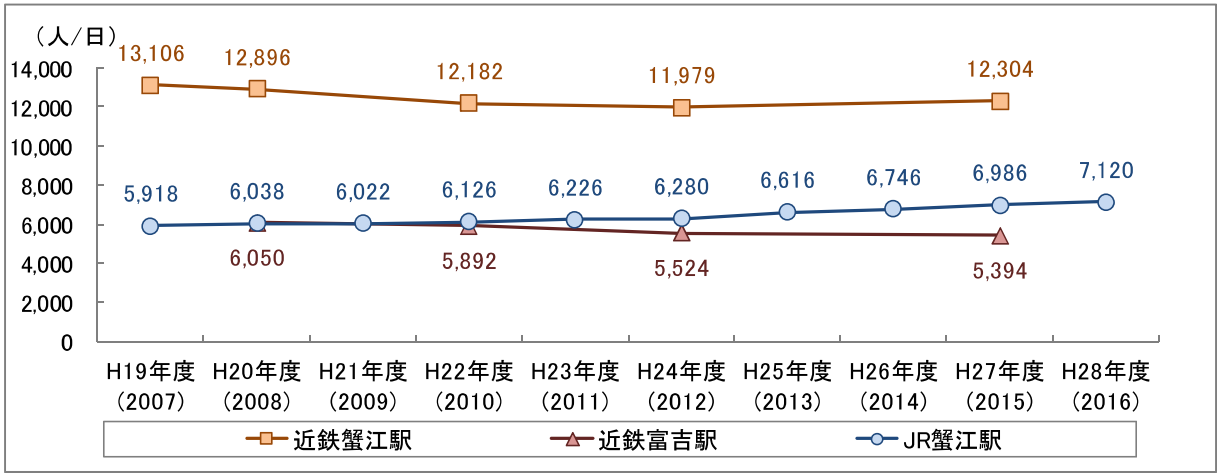


図 町内の鉄道駅の乗降客数の推移

資料：都市計画現況調査、近畿日本鉄道

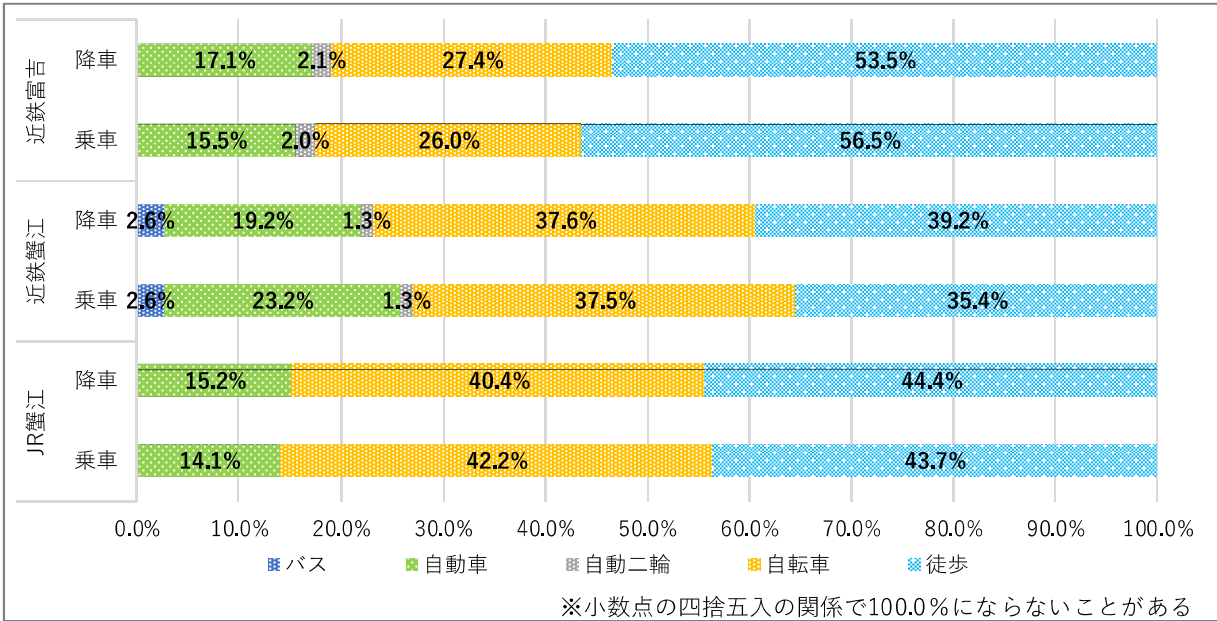


図 各鉄道駅までの交通分担率

資料：第 5 回（平成 23 年度）京都市圏パーソントリップ調査

(2) バスルート

本町が運営する「お散歩バス」が、概ね町全域をカバーするように運行している。「お散歩バス」以外のバス路線としては、北部に津島方面と名古屋方面を連絡する「名鉄バス」と津島市が運営する「ふれあいバス」、町中央部を「三重交通」が横断（夜間）し、南部では「飛島公共交通バス」が近鉄蟹江駅に、愛西市が運営する「巡回バス」が近鉄富吉駅に乗り入れている。

本町の東側には「名古屋市営バス」、南側には弥富市が運営する「きんちゃんバス」が通っており、このうち「きんちゃんバス」は、「飛島公共交通バス」との乗継ぎが可能で近鉄蟹江駅に乗り入れている。

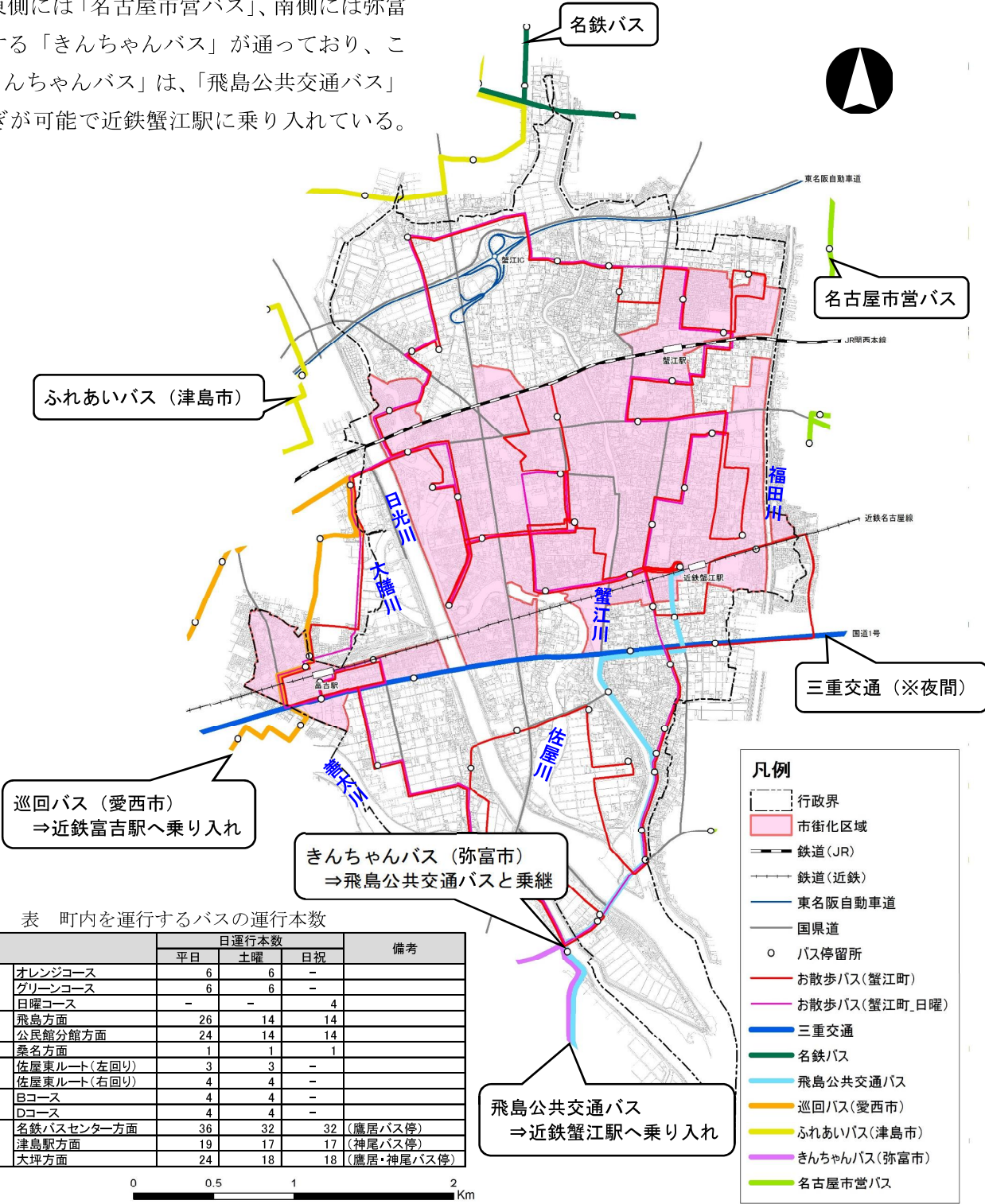


表 町内を運行するバスの運行本数

		日運行本数			備考
		平日	土曜	日祝	
お散歩バス (蟹江町)	オレンジコース	6	6	-	
	グリーンコース	6	6	-	
	日曜コース	-	-	4	
飛島公共交通バス	飛島方面	26	14	14	
	公民館分館方面	24	14	14	
三重交通	桑名方面	1	1	1	
	巡回バス	3	3	-	
巡回バス (愛西市)	佐屋東ルート (左回り)	4	4	-	
	佐屋東ルート (右回り)	4	4	-	
ふれあいバス (津島市)	Bコース	4	4	-	
	Dコース	4	4	-	
	名鉄バスセンター方面	36	32	32	(鷹居バス停)
名鉄バス	津島駅方面	19	17	17	(神尾バス停)
	大坪方面	24	18	18	(鷹居・神尾バス停)

図 町内のバスルート